

十和田の火山活動解説資料（平成30年4月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1）

銀山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2、図3）

17日に中湖^{なかのうみ}付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、そのほかの期間では、火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 十和田 中湖周辺の状況（4月17日）

・銀山（中湖の北西約6km）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年5月分）は平成30年6月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

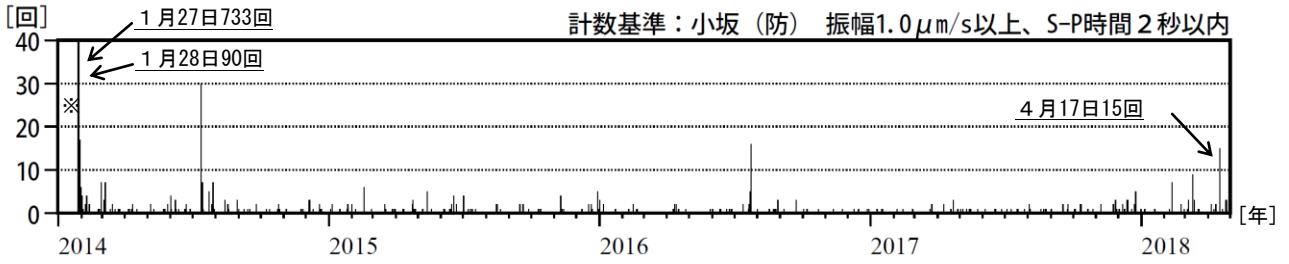


図2 十和田 日別地震回数（2014年1月～2018年4月）

- ・17日に中湖付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。
- ※2014年1月27日より計数を開始しました。

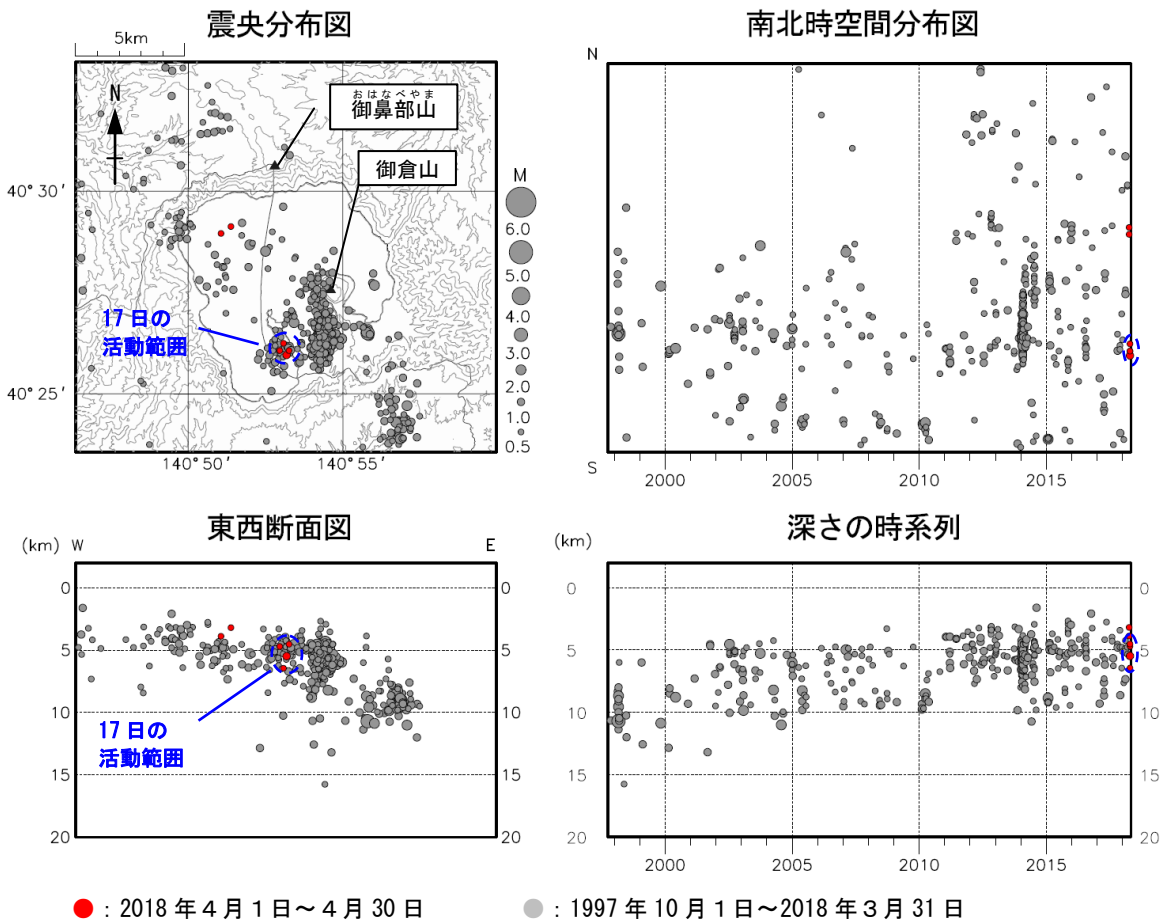


図3 十和田 広域地震観測網による十和田周辺の地震活動図（1997年10月～2018年4月）

- ・17日の活動範囲は中湖付近（青破線）です。
- ・図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。

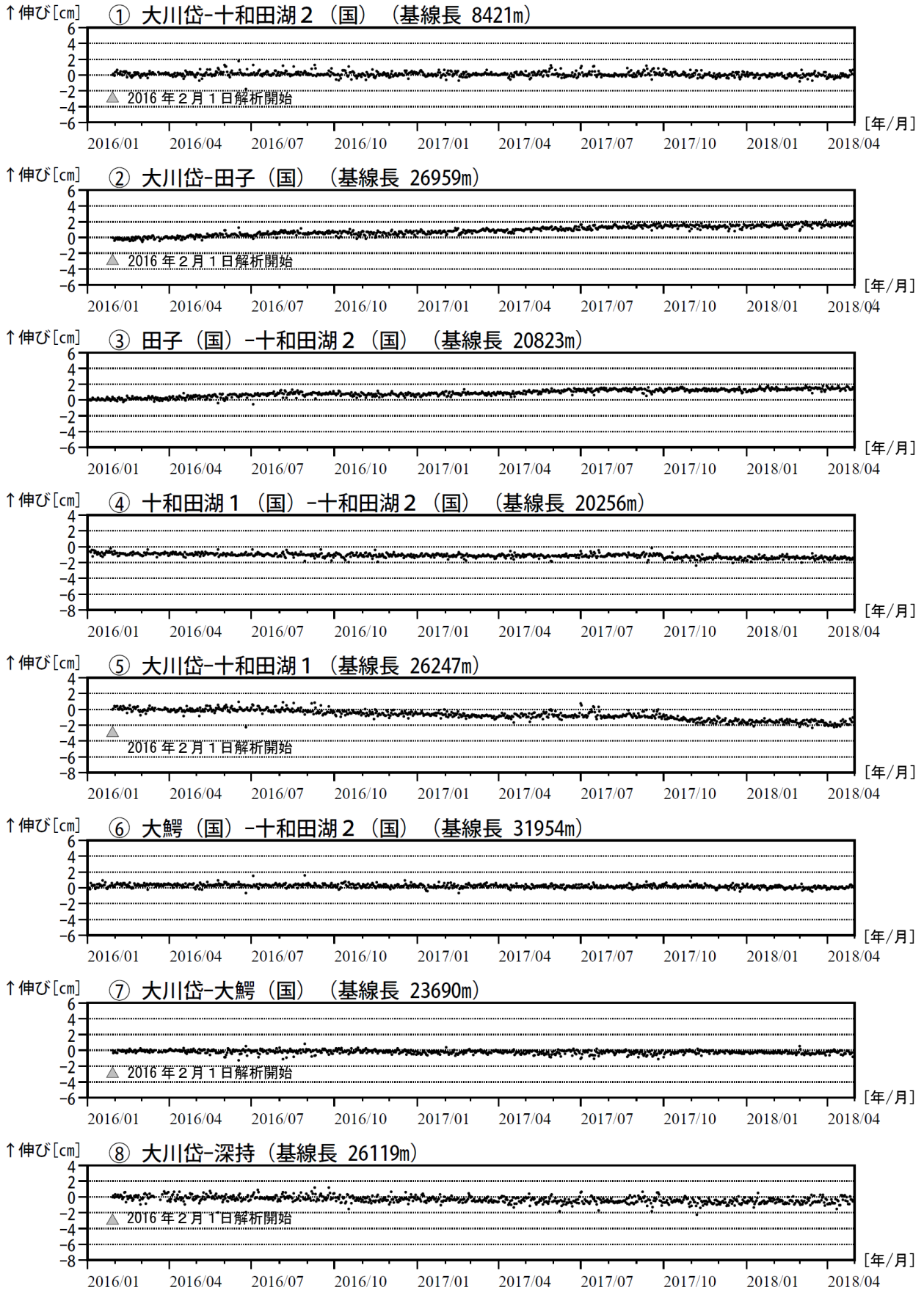


図4 十和田 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2016年1月～2018年4月)

- ・空白部分は欠測を示します。
- ・①～⑧は図6のGNSS基線①～⑧に対応しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

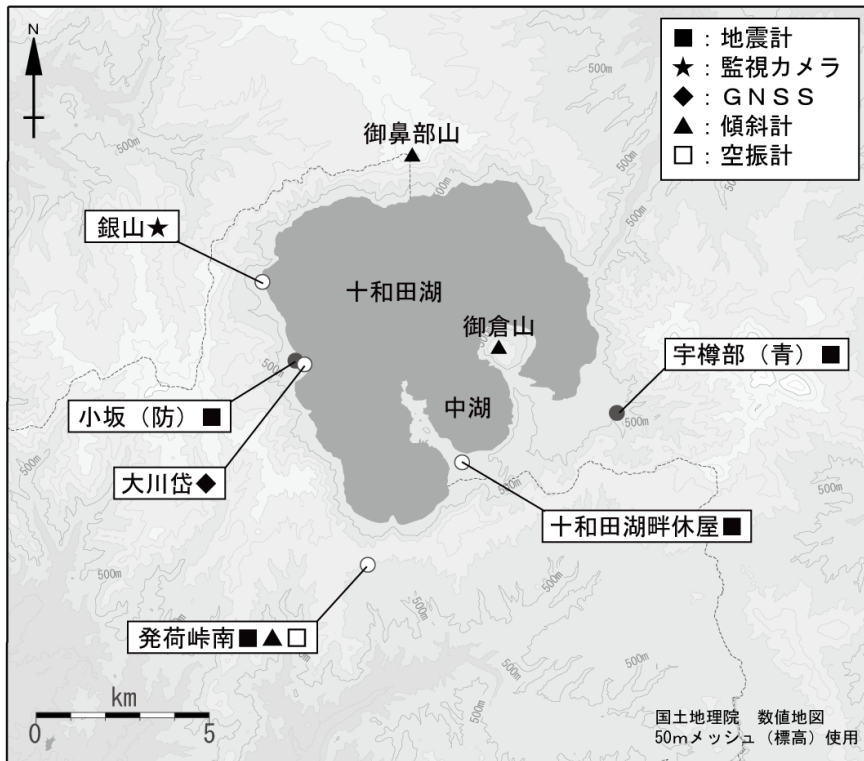


図5 十和田 観測点配置図

・小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (防)：防災科学技術研究所 (青)：青森県

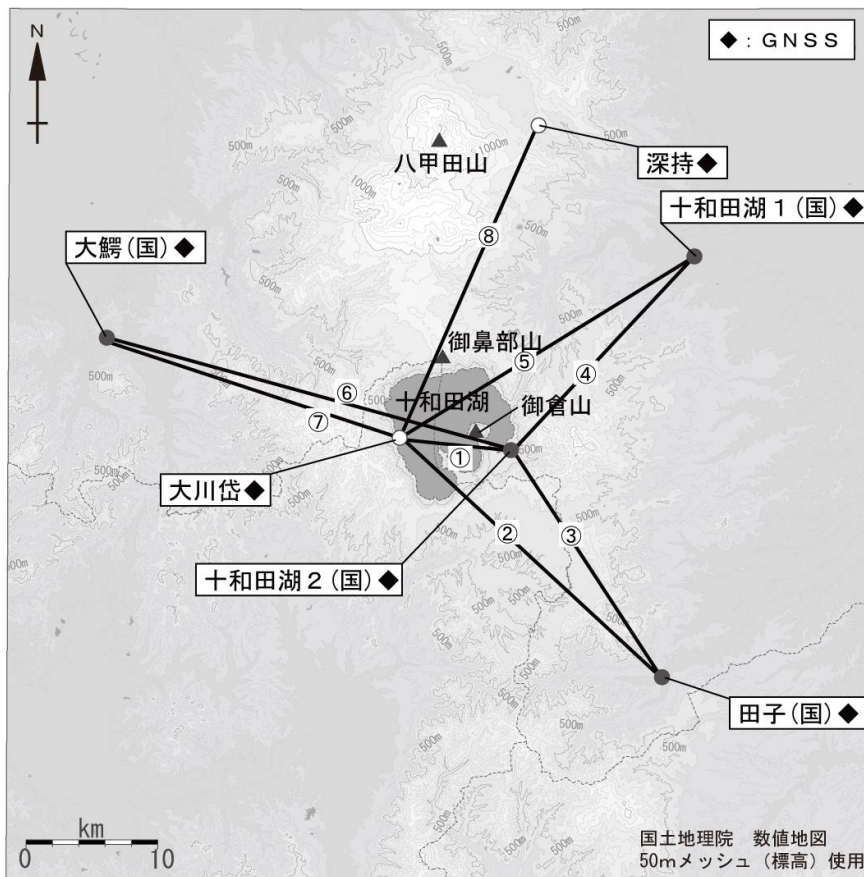


図6 十和田 GNSS 観測点配置図

・小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院